

薬剤部だより No.157

山口大学病院薬剤部

2003.2.17

入院予定注射の搬送カートが全て切り替わりました！

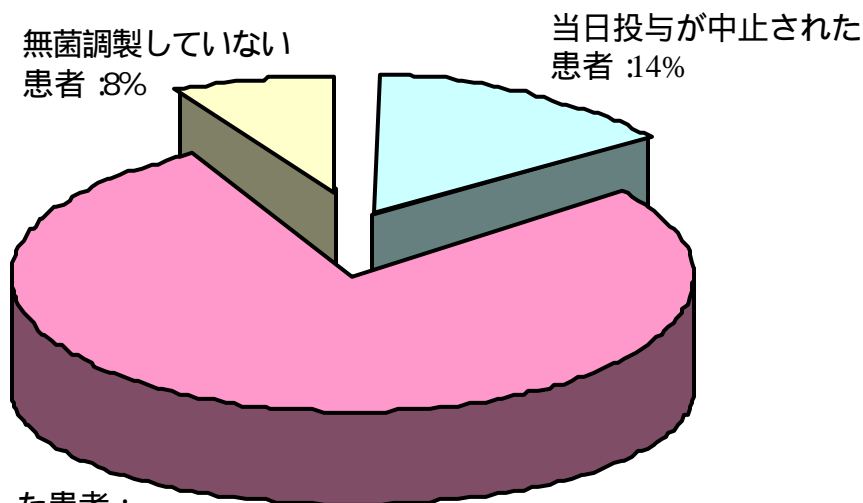
1 - 10 病棟で試行していました入院予定注射の新カートが、2月3日から全病棟で切り替わりました。薬品管理等の問題から、ナースステーションに置けるサイズ、鍵のかかるものに変わっております。平成2年から12年間毎日頑張ってくれました旧カートご苦労様でした。

なお、これまでカートの上にまとめて返却されていた注射薬は、新カートではカートの中にまとめて下さい(血液製剤の返却時は、患者名、実施予定日を明確にしてください)。

化学療法を受けられる9割の外来患者をサポートしています

本年4月から外来化学療法加算が新設されました。薬剤部においてもこれにいち早く対応し、外来点滴室内で無菌調製を行っています。点滴室を利用された患者の約8割(図)(投与中止の患者を除くと9割)に無菌調製を行っており、現在では約130件/月を算定しています。

医師及び看護師との連携を取りながら、よりよい患者サービスに努めていきますので、これからもご協力宜しくお願いいたします。



無菌調製した患者：
78%

2002/9/1- 11/30

【図】点滴室利用患者総数544名の内訳

外来注射にも投与禁忌薬剤チェック、抗癌剤チェックシステムが稼動しました

外来予定・緊急注射にも、1月30日から『投与禁忌チェックシステム』および『抗癌剤チェックシステム』が組み込まれました。疑義照会等で主治医に電話連絡することも多々あると思いますが、薬剤の安全かつ適正使用のため、ご協力宜しくお願いいたします。なお、病名および身長・体重等の患者基本情報の入力漏れにご注意ください。

フルカリックがオーダ可能となりました

今回の薬事委員会でユニカリック L,N1000mL に変わり、フルカリック 1号,2号,3号が採用になりました。本来なら薬剤部在庫のユニカリック L,N1000mL がなくなり次第、フルカリックへの切り替えになっていましたが、相当数使用されていることもあり、混乱を避けるため、しばらくの間、ユニカリック、フルカリック両剤ともオーダできるようにしています。

しかし、遅くとも3月一杯でユニカリック L,N1000mL のオーダをストップする予定ですので、フルカリックへの変更を早めをお願いいたします。なお、フルカリック使用時には遮光袋が用意されていますので、必要時には薬剤部に請求してください。(TEL 2724)

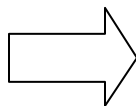
インスリン40 単位/mL 製剤販売中止のお知らせ

IDF(国際糖尿病連合会)では、濃度の異なるインスリン製剤と専用シリンジの組み合わせを間違えて使用した場合、重大な事故を招く危険性があることから、100 単位/ mL 製剤へ統一するという結論に達し、世界的にはほぼ 100 単位/ mL 製剤への移行が完了しております。我が国においても 100 単位/ mL 製剤への統一が推奨されており、40 単位/ mL 製剤は販売中止になります。これを受け、当院でもインスリンは4月1日をもって100 単位/ mL 製剤のみ(注入時に使用するシリンジ: プラスチックも 100 単位/ mL 製剤専用のもののみ)になります。なお、予定注射および未来分の退院処方をお知らせの際には、4月1日以降の日付で 40 単位/ mL 製剤を入力しないようご注意ください。

《当院採用薬》

【販売中止製剤】

ノボリン R 注 40
ノボリン 30R 注 40



【代替製剤】

ノボリン R 注 100
ノボリン 30R 注 100

注射薬特別管理薬品を近々変更します

特別管理薬品のプラスマネートカッター250mL、グラン 75、15Q、M300 が削除になります。これに伴い、平成 15 年 4 月を目途に注射薬特別管理薬品を変更する予定です。プラスマネートカッターを 5%アルブミン、グランをグランシリンジに、在庫がなくなり次第切り替えます。但し、グラン 75 はグランシリンジ 75 に切り替え済みです。